

## 令和3年度 橋梁点検箇所一覧

番号	橋梁番号	橋梁名	路線番号	町道名(所在地)	判定区分	橋長	全幅員	架設年度	備考
1	10	さこしたばし 迫下橋	202	文化通-梶谷線 (大崎町永吉)	Ⅱ	46.0 m	6.2 m	1984年	本橋は2015年頃に補修が実施されている。主構造には特に対策すべき損傷は見られない。地覆下面に小断面のうきが15箇所生じている。A1橋台上のゴム支承（G3桁）には破断が生じており、本損傷は2013調査時と比較し変状の進行がみられる。今後も変状が進行する可能性があり、経過観察（下部工沈下量の測定等）を行う必要がある。現時点では支承機能の低下はなく、早期に補修する必要はないと判断し、判定区分Ⅱとした。
2	12	さんもじおおはし 三文字大橋	487	永吉-菱田線 (大崎町永吉)	Ⅰ	44.4 m	9.2 m	2000年	本橋は2018年に補修が実施されている。主構造部には、特に措置を講ずべき損傷は生じていない。下部工沓座に鳥のふんの堆積や伸縮装置部に土砂詰まりが生じている。橋梁本体は健全であり特に措置を講じるべき損傷はないと判断し、判定区分Ⅰとした。
3	16	わかまつばし 若松橋	439	塗木-若松線 (大崎町野方)	Ⅰ	20.5 m	4.4 m	1963年	本橋は2018年に補修が実施されている。主構造部には特に損傷は生じていない。下部工の橋座面及び伸縮装置に土砂堆積が確認された。橋梁本体は健全であり現状では特に措置を講じるべき損傷はないと判断し、判定区分Ⅰとした。
4	18	わたうちはし 綿打橋	104	横瀬-菱田線 (大崎町横瀬)	Ⅱ	40.8 m	5.1 m	1954年	本橋は2018年、2019年に補修が実施されている。主桁の未補修部700×150の浮きや、数ヶ所のひびわれ0.2mmが生じている。床版にも若干のうき等の損傷が生じている。予防保全の観点から断面修復等の措置を講じることが望ましいと判断し、判定区分Ⅱとした。
5	20	べんつけばし 弁付橋	353	後迫-栗之峰線 (大崎町横瀬)	Ⅰ	43.2 m	6.2 m	1982年	本橋は2019年、2020年に補修が実施されている。主桁や床版に残鉄や番線の露出がみられる。下部工は軽微なひびわれが少数確認されたのみである。橋梁本体は健全であり現状では特に措置を講じるべき損傷はないと判断し、判定区分Ⅰとした。
6	24	したおおはし 下大橋	105	木入道-新地線 (大崎町永吉)	Ⅱ	6.6 m	14.2 m	2000年	中央部のI型プレテン桁の下面及び下部工には、鉄筋露出が新たに散見された。予防保全の観点から断面修復等の措置を講じることが望ましいと判断し、判定区分Ⅱとした。
7	27	だいにさこしたばし 第二迫下橋	202	文化通-梶谷線 (大崎町永吉)	Ⅰ	5.6 m	4.0 m	1985年	本橋は2020年に補修が実施されている。横桁に補修時の不具合による補修材のうきが生じている。上部工横桁の旧横締めボルトに腐食が生じているが、補修時に新たに横桁・横締めを設置しており、構造的な問題はない。橋梁本体は健全であり現状では特に措置を講じるべき損傷はないと判断し、判定区分Ⅰとした。
8	38	なかおはし 中尾橋	363	中尾-中段線 (大崎町永吉)	Ⅱ	7.0 m	3.6 m	1975年	主桁に水平方向ひびわれ0.4mmや床版に複数の0.3mm程度のひびわれが発生している。また、全体的に豆板が散見される。下部工には、沓座全面付近にうき等が生じている。防護柵は鉄筋露出や変形欠損が生じているが、防護柵背面に落下防止用のガードパイプが設置されている。予防保全の観点からひびわれ注入や断面修復等の措置を講じることが望ましいと判断し、判定区分Ⅱとした。
9	44	とどろきばし 轟橋	401	中持留-尾之鼻線 (大崎町持留)	Ⅰ	12.0 m	4.9 m	1954年	本橋は2020年に補修が実施されている。上部工には特に損傷は見られない。下部工は植生繁茂が生じているのみである。橋梁本体は健全であり現状では特に措置を講じるべき損傷はないと判断し、判定区分Ⅰとした。
10	46	だいいちかりやが 第一仮屋ヶ谷橋	414	仮屋ヶ谷-松ヶ鼻線 (大崎町野方)	Ⅱ	11.5 m	5.6 m	1975年	本橋は2018年に補修が実施されている。主桁・横桁・床版には損傷は見られない。支承は、旧支承のボルト部が再劣化により腐食・断面欠損が生じている。予防保全の観点から塗装塗替等の措置を講じることが望ましいと判断し、判定区分Ⅱとした。

《判定区分》 Ⅰ：健全 Ⅱ：予防保全段階 Ⅲ：早期措置段階 Ⅳ：緊急措置段階

※点検要領：道路橋定期点検要領（平成31年3月国土交通省道路局国道・技術課）